

あいさつ運動の好事例

浅口市立金光小学校

(児童数 353名 教職員数 25名)

全校・地域で盛り上げるあいさつ

～ 児童会活動・地域連携 ～

アピールポイント

よりよい金光小学校にするために、登校時に、計画委員会とあいさつボランティアによる「あいさつ運動」を展開している。給食時の放送で、あいさつのよかった児童や登校班の紹介を行っている。

月に1回、地域の方も一緒にあいさつ運動を行い、「あいさつ運動」後には、児童による「おもてなし」を行っている。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

本校では、児童会が中心となって「あいさつ運動」を行い、全体として、あいさつをがんばろうとする児童が多いが、全員となると難しい。そのため、「あいさつ運動」を盛り上げ、「あかるく・いつでも・さきに・つたわる」あいさつを意識して続けることにより、気持ちのよいあいさつが習慣化されるようになればよいと考えた。

■活動内容

給食時の放送で、あいさつの良かった児童や登校班の紹介を行っている。計画委員会の児童が「明るくあいさつができた児童」「目を見てあいさつができた児童」など分担当をしてあいさつのよい児童を見付け、良くなっていく変化などを放送している。

また、月に1度、地域の方も一緒にあいさつ運動を行い、あいさつ運動後には、6年生児童による「おもてなし」を行っている。児童が校長室へ地域の方を案内し、お茶とお菓子を出して、学校生活について話をしている。地域の方から、児童の様子などを聞き、学校と地域とが連携して健全な子どもの育成に努めている。

■取組の参加メンバー

全校児童・地域の方・教職員が参加。「あいさつ運動」は児童会が中心となって実施。

■成果・効果

自分のクラスの児童が放送で紹介されると歓声があがり、褒め称える様子が見られたり、自分も放送で紹介してもらおうとあいさつをがんばったりする児童の姿が見られた。

地域の方と一緒に「あいさつ運動」をしたり、「おもてなし」で直接地域の方と言葉をかわしたりすることにより、地域の方に見守られている自分に気付き、あいさつの輪が広がっている。また、地域の方に褒めていただくことにより、児童のがんばろうとする意欲へとつながっている。